

秋、マツムシが鳴く頃に咲く。

< 植物名 >

スカビオザ
マツムシソウ
セイヨウマツムシソウ

水やり

土の表面が乾いたら水をたっぷり与える。

置き場所

真夏は直射日光が当たらない半日陰で管理する。

用土肥料

水はけが非常に良い土を好む。肥料は少なめに。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

種まき

冬越し

耐寒性はあるので、寒冷地でも比較的良く育つ。

使い方 鉢植え、花壇

学名 Scabiosa atropurpurea

英名 scabiosa atropurpurea

属名 マツムシソウ

科名 マツムシソウ

性状(分類) 1・2年草、多年草

原産地 中国、日本

花の色 深紅、紫、白

開花期 夏

購入時期

草丈 60～90 cm

ID 241

季節 夏

JFコード 14347



冬越しと置き場所

日当たりの良い場所を好むが、種類によっては雨や暑さに弱いものがあるので注意が必要である。花や葉が直接雨に当たらないところに置いたり、真夏には直射日光が当たらない半日陰で管理することが望ましい。耐寒性はあるので、寒冷地でも比較的良く育つ。

その他の解説

花から採ったタネは外側の皮が硬いため、まく前に良くもんでおくと発芽しやすい。ヨーロッパ系の品種は酸性の土に弱いので、土にはあらかじめ石灰を混ぜて土質を中和させておくのがよい。肥料は少なめにし、やりすぎに注意する。

特徴1

ボーダーガーデンや、鉢植えにおすすめ。川砂や腐葉土混じりの土質で、水はけが非常に良い土を好む。

特徴2

原産はアジアであるが、ヨーロッパ、アフリカにも分布し、地中海沿岸地域に多く分布している。和名の「マツムシソウ」とは、初秋のマツムシが鳴く頃に咲くことからつけられている。草丈に合わせ、ボーダーガーデンや、鉢植えに使用できる。